

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【公表番号】特表2013-506506(P2013-506506A)

【公表日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-010

【出願番号】特願2012-532352(P2012-532352)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/02 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/02

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 1/00 3 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月25日 (2013.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

体壁に取り付けることができる構造とされており且つポート開口を形成しているポートを介して体腔へアクセスするための医療器具であり、

前記ポートに取り付けることができる構造とされている結合部材と、

前記結合部材に取り付けられ且つ前記ポート開口内を遠位方向へ延びている第一の部分と該第一の部分に対してある角度をなして延びている第二の部分とを備えているレールと、

前記レールの前記第一の部分に選択的に結合することができる構造とされ且つ前記レールの前記第一の部分と第二の部分とに沿って摺動可能な搬送部材と、を備えていることを特徴とする医療器具。

【請求項 2】

前記レールが、前記搬送部材が前記レールに沿って遠位方向に該レールの前記第一の部分から前記第二の部分まで摺動できるようにした構造とされており、前記搬送部材と前記レールの第二の部分とが、前記搬送部材が前記レールの第二の部分から取り外すことができない構造とされている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 3】

前記搬送部材が、前記レールを摺動可能に収容できる大きさとされている側方が開口している溝を備えている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 4】

前記搬送部材がリンク部材を備えており、前記レールが前記搬送部材の前記リンク部材を摺動可能に収容することができる大きさの側方が開口している溝を備えている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 5】

前記レールがある幅の棒材によって形成されており、前記レールの第一の部分が、前記搬送部材を前記レールに選択的に結合させることができる構造とされている幅の狭い部分を備えている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 6】

前記レールの第二の部分が前記レールの第一の部分よりも長い、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 7】

前記レールの第二の部分が湾曲している、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 8】

前記レールの第二の部分が前記レールの第一の部分に対して直角に延びている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 9】

前記レールの第二の部分が前記レールの第一の部分に対して 45 度～115 度の範囲で角度が付けられている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 10】

前記レールの第一の部分の長さが 1 mm～10 mm の範囲内であり、前記レールの第二の部分の長さが 5 mm～50 mm の範囲内である、ことを特徴とする請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の医療装置を備える体腔へアクセスするための医療用装置であり、
ポート開口を形成しており且つ体腔の近接している体壁に取り付けることができる構造とされているポートと、
前記搬送部材の前記医療機器用結合部材に結合されている医療機器と、
遠位端が前記搬送部材に結合されている細長い押し込み部材と、を備えていることを特徴とする医療用装置。

【請求項 12】

前記ポートが該ポートの軸線の周囲に延びている環状の側壁を備えており、該環状の側壁の一部分が該環状の側壁の隣接の部分よりも前記ポートの軸線から遠くに隔てられていてポケットを形成しており、前記レールが前記ポケット内に位置決めされている、ことを特徴とする請求項 11 に記載の医療用装置。

【請求項 13】

前記押し込み部材が、前記機器用結合部材と前記医療用機器とのうちの一つに結合されている制御ワイヤーを備えている、ことを特徴とする請求項 11 に記載の医療用装置。

【請求項 14】

前記結合部材が、前記ポートの周縁に沿って延びる構造とされているフック形状の本体を備えている、ことを特徴とする請求項 11 に記載の医療用装置。

【請求項 15】

前記結合部材が、前記ポート上の前記結合部材の位置を選択的に固定する構造とされているラッチを備えている、ことを特徴とする請求項 11 に記載の医療用装置。